［発行者］社会福祉法人 伊勢亀鈴会　2022年4月1日発行

きれい

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会　ウェブ検索

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문
VOL 140

伊勢亀鈴会 創設40周年を迎えて

社会福祉法人伊勢亀鈴会　理事長　横山 仁司

山内一豊と見性院

見性院は郡上八幡城主の娘として生まれ、のちに土佐を治める山内一豊に嫁いだ身分の低い一豊が名馬を買う為に、嫁入り時に持たされたお金を惜しみなく使った等、内助の功により夫の出世を影から支えた。

目次

■巻頭インタビュー ―― 1
伊勢亀鈴会　創立40周年を迎えて
社会福祉法人伊勢亀鈴会理事長　横山仁司

■なかま ―― 6
「私のルーティン」
宮の里ミタスメモリアルホーム
潮田美奈子さん

■道のり ―― 7
より一層の感染予防対策を!

■春夏秋冬 ―― 10
行事・クラブ・活動紹介

■ハートフルリレー ―― 16
相談はライフステーションへ

■きれいトピックス ―― 17
永年勤続表彰・ご寄贈いただきました
芸術文化祭受賞・神鶏奉納
成人・還暦のお祝い

■職員の休日 ―― 20
毎日楽しくお仕事をしております
八野生活介護センター　大島正太郎

■きれいかいの動き ―― 表3
新職員・人事異動他

表紙写真

郡上八幡城　（岐阜県郡上市）

1566 年に創建され、明治期に取り壊しになるも 1933 年に木造天守が再建
日本最古の木造再建城、そして日本一美しい山城として人々を魅了している。

伊勢亀鈴会 創設40周年を迎えて

社会福祉法人 伊勢亀鈴会
理事長 横山 仁司

今回のインタビューは、横山理事長に今後の伊勢亀鈴会についてお伺いしました。インタビュアーは八野就労支援センターの大坪です。

大坪…新型コロナウイルス（以下「コロナウイルス」という）の感染が拡大し、終息も見えずに大変な日々が続いています。法人の緊急課題にも「感染防止の再徹底」とありました。法人としての対策と、理事長ご自身が気を付けていることを教えてください。

理事長…感染症は人類が生きていく中で永遠のテーマであり、共存していかなくてはならない。コロナウイルスに対しては、水際対策、ワクチン接種等、政府の方針に沿って対策を行ってきました。個人が心掛けるだけでなく、家族の協力が必要不可欠であり、常々家族に、私は障がいのある利用者さんを守る立場であることを伝えています。

大坪…コロナウイルスの今後の動向をどう予測されていますか？

理事長…専門家の見解によると、コロナウイルスを撲滅するために手を打っていくと、どんどんウイルスが進化し、新株が出てくるとのこと。外出、食事、大声での会話など全て制限され、我慢の多い日々が続き、人々は気持ちが暗くなる。マイナス思考ではなくプラス思考に切り替えて、共存しながら楽しみを見つけて欲しいと思います。

新年の挨拶への想い

大坪…「ピンチをチャンスに」とありました。このワードを選択した理由や意味することは何ですか？

理事長…必ず企業経営は景気に左右されます。高度成長期の時には気が付かず、オイルショックなど、景気が悪くなった時に「勝ち組、負け組」という言葉が出てきます。負け組になる人は、ピンチの時にマイナス思考をします。プラス思考になる人は、どん底の時こそチャンスと捉え、新規事業を開発します。今回のコロナウイルスで沢山学びました。その経験をプラス思考に変えて、知恵出しをすることが「ピンチをチャンスに」することだと思います。

大坪…理事長ご自身の経験を教えてください。

理事長…過去に3回大きな手術をしました。手術の度に、2か月ほど入院をして、通算半年間会社を休みました。入院生活はどうしても落ち込んでしまい、再起できるのかと不安が過ぎります。退院した日に新天地に転勤した事もあった。長い間、入院していると思考が低下し、人と話をしてもピンとこないため、気持ちも焦る…でもこの状態になってしまったことは仕方ない。時間をかけてもう1度元に戻したら良いと考えました。

また、スポーツで腰を悪くしたこともあります。1歩も歩けない。手術後復帰できるか心配でした。リハビリだけでなく、病院の裏にある山道を歩き、筋力をつけて、またゴルフができるようになりました。落ち込んで「もうあかん」と思っていたら、ゴルフをする事ができなかったと思う。皆さんも「ピンチをチャンス」と捉えて諦めないで欲しいと思います。

大坪…「風通しの良い職場」にするために、職員はどのようなことに取り組んでいけば良いですか?

理事長…それぞれ役割があるのに、今までは不明確であった。例えばご家族からクレームが入った時に、誰が対応するのか明確でない。役割のない職場では風通しが良くなりません。よく「理事長が言っていた」というワードを耳にします。それを言うのは役職者が多い。私が言った事を若手職員にストレートに伝えており、それは楽で責任もない。そんな組織だと役職者は要らなくなり、私が直接話をしたら良い。役職者は私が話をした事を理解し、自分の言葉で、若手職員が理解できるように噛み砕いて伝えて欲しいと思います。

また、過去に離職率が高いことがありました。原因を分析した結果、風通しが悪かった。若手職員が職場のために提案をしても、役職者が「無理」「できない」と押さえつけると、やる気がなくなり萎縮する。「やりたい事はチャレンジしてみなさい!私が責任を持つから」と言われるとやる気が沸く。日本の社会では「出る杭は打たれる」。1人が手を挙げて意見をすると、その者が叩かれます。私は「出る杭は育てる」。できるだけ現場の職員と直接話をします。沢山の知らない話や、建設的な意見が出てきます。

大坪…福祉の「プロ意識」とは?

理事長…心掛けているのは、それぞれの役割ごとのポジショニング。施設長、課長、係長、主任、副主任とそれぞれの役割の中で、基本ができている事がプロ。中途半端な仕事をしてしまうとプロにはなれません。例えば、プロのスポーツ選手は身体を酷使し、怪我を乗り越えてレベルアップを図り、真のプロとなります。私達も「プロ意識」を持つ事が必要です。人より抜きん出るためには何十倍もの努力が必要です。

もう1つは、中期事業計画にもある公的資格の取得。例えば、倒れている人が目の前にいても、医師免許がなければ、医学的な処置はできない。それと同じで、介護福祉士等の資格が無いと、介護を受ける利用者さんが「この人に任せて大丈夫か」と不安に思うはず。そのために法人の公的資格取得率、80%を目指します。

中期事業計画について

大坪…働き方改革で、リモートワークの推進とありました。この数年で定番の働き方となりつつありますが、法人でどのように取り入れていく予定ですか?

理事長…この2年間である程度基盤を作りました。テレビ会議システムや電子決済を10年以上前から取り入れてきました。今回のコロナウイルスで大手企業もリモートワークを取り入れ始めました。例えば遠隔医療。病院へ行かなくても、主治医が自宅に居て映像で診察ができたり、免許証更新、選挙投票なども電子化が取り入れられ、どんどん進んでいます。そこに私たちも次のステップを考え、遅れをとってはいけない。全ての事業にAI・ICTを取り入れ、機械ができることは機械に任せると、無駄な作業が減り、業務効率も上がる。AI・ICT化は働き方改革のキーファクトとなると思います。

大坪…ディジタル化や新たな機械操作が不安な職員もいるようですが…

理事長…今までは電話で話をしたり、メールを送る手間がかかった。高齢の職員やご家族の皆さんに新たな機械操作や文字入力は難し

中期キャラバン風景

いと思います。これからの5Gサービスは映像や音声からデータに変換され、自由自在。機器への不安は見直しされていくから、心配しなくても大丈夫です。まだまだアナログ半分、ディジタル半分の時代。政府はディジタル庁を立ち上げて、国家レベルで、ディジタル化を推進しています。認証がバーコードから、静脈で行うことが一般的になる時代が来ると思います。専門家が研究するから、職員は難しいことは勉強しなくても良い。何故こんなことできるのか?は考えなくても良い。ただ、こんな事をしたいというニーズをどんどん出して欲しいと思います。

大坪…AIロボットは利用者さんの気持ちは分かりますか?

理事長…今までは、通信技術を活用して便利にすることが目的でした。AIロボットでも表情、声、文脈などから人間の感情を分析して、気持ちを理解する事ができます。人間と全く変わらない。囲碁や将棋でもAIロボットが活躍していますが、単に差し手をしているだけでなく、感情も入っています。ピンチの時に相手がこう思うであろうと予測をしています。そこまで進化し、感情まで入ったヒューマン的なサービス提供ができます。5G、6Gの時代になってきたら、人間とAIが全く変わらない。ただAIは膨大なデータを入力して答えを出す。例えば「1＋1＝2」。人間はそれ以外の計算「4－2＝」でも「2」と柔軟な発想で答えを出す事ができ、そこがAIと人間との違いであり、永遠のテーマ。今まではテクニカルサポートであったが、今後はヒューマン的なサポートに変化していきます。あくまでもAI操作は人間が行い、私達はAIには出せない人間的な温かみを忘れてはならないと思います。

大坪…将来の亀鈴会を担う人材に何を求めますか?

理事長…亀鈴会も300人を上回る職員がいます。「企業は人なり」とよく言いますが、人材育成なくして企業の発展はないと思います。だが全職員を底上げするのは難しいので、中長期的に将来を担っていく人達を3つの層から選びました。新卒者、公的資格のあるプロフェッショナル、中核人材。それに属さない人達を見捨てるわけではなく、ミドル層には役職があり、キャリアパスによりステップアップを目指す。今の若手職員の10年、20年後先は予想できないけれど、中心になる人達を普段から育成していかないと明日の亀鈴会は存在しないと思います。

大坪…シルバー関連事業の将来像を教えてください。

理事長…入所利用者も平均年齢が60歳を越え、高齢化が進んできました。若手職員の育成だけでなく高齢化社会に対応した地域貢献が必要。何が地域貢献かと考えた時に、葬祭事業、まかせ太君事業、不織布事業とありますが、個々が点の事業であり、パワーが発揮できていない状態。大きな柱として、シルバー関連事業＝地域貢献活動の具体化として位置づけ、総合的に取り組んでいきます。例えばお亡くなりになった方の葬儀を担当して、不用品回収から家の解体、土地の活用として、児童施設やグループホームなど福祉施設を建設。葬儀から最後のところまで私たちが担う。その為に不動産事業を立ち上げます。それがシルバー関連事業のビジネスフローです。

また、女性は結婚して子供ができた後も、働かなくてはならない。その時に託児所や保育園が必要になります。小学校の近くに放課後等デイサービスと学童保育の合体型施設を作れば、利用し易い。ヤングママ支援施策とシルバー関連事業、この2つを完成させていかないといけないと思っています。

大坪…利用者工賃5万円を目標額にした理由は何ですか?

理事長…まずは考え方を整理する事。法人の理念にある、一生涯支援とは親亡き後を私達がお約束しますとコミットメントを出しました。親御さんが亡くなったら、利用者さんが自立して生活していく必要があります。今の障がい年金だけでは、グループホームの入居料だけでも足りません。

若い頃から工賃を貯金いただき、将来年金と合わせて自立した生活が送れるために、今のうちに工賃を5万、10万円と上げていく事が、ヨーロッパ型障がい福祉事業であるが、日本は遅れています。今は5万円が目標ですが、最終的に15万円になって欲しいと思っています。

大坪…一生涯支援の中で、高齢者福祉への参入予定はありますか?

理事長…当然考えていかなくてはならない事。共生社会の中で、児童、高齢、障がいを分野で分けずに横串を入れて、幼稚園、老人ホーム、障がい者施設も含めた総合的な福祉事業をしていく必要があります。現状、障がい者でも高齢になると老人ホームに移行せざるを得ない実態。それでは制度に縛られ過ぎている。何事も総合的、多機能型の社会福祉法人にならないといけないと思います。既に準備に取り掛かり、実現を目指しています。

大坪…これからの利用者サービスに求められるものや目指すものは何ですか?

理事長…生活介護事業では、自己実現を目指して、個々に得意な事、字を書いたり音楽をしていますが、大事な事は日常生活上の「しつけ」です。例えば1人で生活をしていると、食事をした後、下膳や食器洗いなどを自分でしないといけない。では利用者さんはどうでしょうか?家族任せの人が多いと思います。せめて、下膳くらいは自分でして欲しい。私は「生活介護事業=しつけ」だと考えています。入所施設では排泄、入浴、食事介助だけでなく、もっと日常生活で地域と共生できる最低限の役割を身に付けていかないといけない。生活介護、就労支援においても、社会人として最低限の事はできるようになる。利用者さんを育てていくことが支援そのものであると思います。

また、前職で障がい者雇用の受け入れもしてきました。大事なことは、社会は団体生活であるため企業へ来たら、ルールを守ってもらわないといけない。出勤時間や休憩時間、昼食場所などを守る事が最低限度必要です。この基本が欠けているから、障がい者雇用の離職率が高い。当時、事故で左手しか使えなくなった18歳の女の子を採用しました。日が経つにつれ遅刻や早退が目立つようになり、ご家族も交えて面談をして、寝る時間や起きる時間を聞き、21時に寝て6時に起きることで、生活のリズムを整えルールが守れるようになったら、継続雇用を約束しました。その後、その子は変わり元気に働き、私が退職する時には感謝の気持ちを伝えてくれました。だから「しつけ」が全ての基本です。

日本理化学工業株式会社の大山会長の話をよくします。どんな重度の障がいがあっても、自分でできることは自分でする、人に迷惑を掛けない、この2つができたら全員社員採用をしており、70%が障がい者雇用です。社会人として、自分ができることは自分でする、家族に全部してもらうのではなく、できる範囲の事はしなくてはならないと思います。是非利用者サービスの中で徹底して欲しい。よく作業所では物の置き場にラインを引き、そこに物を片付ける。これも大山会長に教えてもらいました。置き場を決めて明確にしておかないと利用者さんは判断が難しい。ルールを作ることは、重要な事であると思います。

大坪…理事長の原動力は何ですか?

理事長…例え夢であっても、実現したいと思い、常に情報収集しています。世の中がどちらの方向を向いているのか、法人としてどちらの方向を向けば良いのかを常に考えています。

プライベートについて

大坪…ステイホームが多くなった今、ご自宅ではどうお過ごしですか?

理事長…地域の人や親戚からの相談事が多い。その時間がかなりのウエイトを占めています。あとは農業。冬は寒いが、身体を動かせば温かくなります。休日に肉体労働をすることにより、月曜日からの仕事に向けて体調が整います。日中はできるだけ身体を動かしているが、まだまだ運動不足であり、毎朝40分程歩くことを日課としています。

大坪…プライベートでチャレンジしたいことはありますか?

理事長…高齢になればなるほど体力が衰える。それを緩める為に身体を動かすことを心掛け

ています。コロナウイルスが流行る2、3年前まではゴルフをやっていたから、もう一度ゴルフをするか…何かはやりたい。やりたい事を思っているだけでなく実行したいです。

大坪…これから職員に取り組んで欲しい事はありますか？

理事長…時間を無駄にしている人が沢山いると感じます。「暇だ暇だ」と言う人ほど暇はないと思う。「忙しい」と言ってバタバタしている人に限って、考え方によっては時間があると思う。時間を無駄にしない＝段取り良く優先順位を付けて物事を済ませる。あれもこれもやらないと…って思うだけでもストレスが溜まります。例えば、私は6時には起床し、いち早く出勤準備を済ませています。早目に行動することにより、凄く時間に余裕が持てます。とにかく段取りひとつ。朝になってから考えるのではなく、寝る前に明日の会議では、こんな話をしようと考えることを心掛けています。利用者支援でも同じ。出勤してバタバタと準備するのではなく、前日から段取りをしておくと、利用者さんもすぐに作業が出来る。早目に段取りをすると、心に余裕が出来ます。その余裕が、風通しの良い職場の第一歩となります。

あと遠慮しないで、挑戦すること。どんどんチャレンジして欲しいです。役職者は自分に余裕がないと若手職員を見れません。心に余裕ができると、視野が広がります。それを是非職員に心掛けて欲しいと思います。

大坪…ご家族へのメッセージをお願いします。

理事長…まずご家族の皆さんには企業理念の2つ、親亡き後の一生涯支援と潜在能力を最大限に発揮できる環境整備による自己実現。利用者さんが充実した日々を過ごせるように、支援していることを理解して欲しいです。親なら自分が亡くなる時に、子供達の将来が気掛かりであるはずです。ましてや障がいがあると、誰の世話で生きていくのかと、ご心配されるであろう。そこを安心してください、親が亡くなった後でも、私たちは利用者さんを守っていきますという約束です。利用者さんが、安心して頼ってもらえるような法人にしていきたい。三重県一、全国一の規模だけでなく、本当の意味でご家族の安心できる法人を目指していきたいと思っています。

大坪…利用者さんへの想いについてお聞かせください。

理事長…笑顔で言葉を交わす利用者さんとも、いつか別れなくてはならない日がきます。だから普段から一生懸命利用者支援をしなくてはいけない。ある日、突然倒れてお亡くなりになることもあります。慰霊碑に入っている利用者さんとは、わずか15年の間で、沢山思い出があります。これからもずっと守って欲しい。そういう思いで慰霊碑を作りました。

横山理事長の元気の源

全盲の利用者さんが、作っていただいた私の顔をイメージした粘土作品を届けていただいた。本当に素直な気持ちになれます。パソコンの前に置いて、毎日見ながら仕事をしています。私の元気の源。利用者さんは想いがあるから形にして下さる。想いがなかったら作れない。作品を作ってくれた事よりも、その想いが嬉しいです。感謝しています。また、利用者さんは夢を持たれている。仲間や事業所が増える事…私自身、利用者さんを見習う部分も沢山あり、利用者の皆さんも夢や希望を持ち続けて、毎日を楽しく感謝して生活して欲しいと願っています。

ありがとうございました。

なかま「私のルーティン」

宮の里ミタスメモリアルホーム　潮田美奈子さん

生活協同組合コープみえ主催
～コープみえからコープふくしま～
つながりカレンダー2022年

2012年から毎年、福島で暮らす方々に元気になっていただけるよう、イラストやメッセージを卓上カレンダーにしてお届けしている東日本大震災復興支援活動「つながりカレンダー2022年度版」今年は145作品の中から宮の里ミタスメモリアルホーム潮田美奈子さんの作品が16作品に選ばれた。日々楽しみを見つけて挑戦し続けている彼女は、このような気持ちを胸に作品を手がけている。

例え、会えなくても、このカレンダーで、みなさんと
つながっているような気がします。
"今年も一年よろしくね"と梅の絵。
この一枚が、カレンダーの中の1つになって
みなさんのもとへ届く事をとても嬉しく思っています。
うしおだ みなこ
潮田 美奈子

これが私の作品です

絵を描き始めて毎日楽しく過ごせている

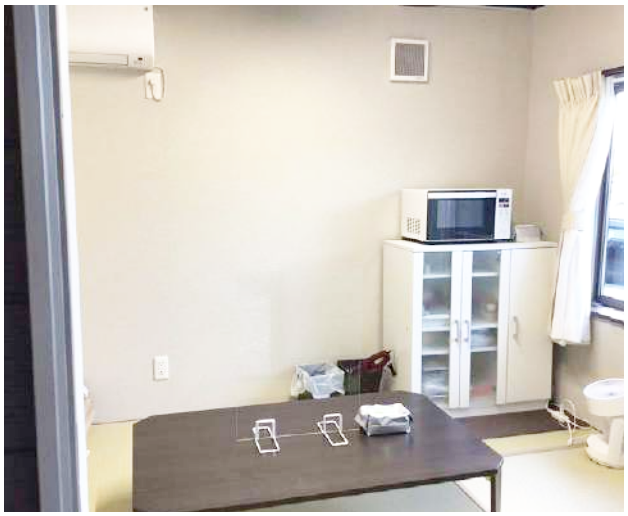
今でも忘れない亡き父が言ってくれた言葉がある。「美奈子にはハンディがある。だからってやりたいけどできるかな…なんて立ち止まったり、諦めたりしなくていい。やりたいと思ったら、結果なんか気にしないでやってみろ。できなかったら又新しい事にチャレンジすればいい。チャレンジする中で、きっと美奈子に合うものが見つかるはずだ。見つかったものこそが、これからの支えになってくれる。これだったら、他の人には負けないってものを見つけろよ。きっと見つかる日がくるさ。」

亡き両親に、なんの親孝行もできなかった私。ありがとう…の一言も言えないまま死に別れた。寂しかった私を支えてくれたのは、父が言ってくれた言葉だった。そして父の言葉を振り返るように、今までやりたいと思った事は、沢山取り組んできた。その中でも一番長く続いているものがある。それは絵を描く事だ。正確に言うと、フィンガーペイント。手や足などに絵の具をつけて描く方法だ。私は、手に絵の具をつけて描いている。そのフィンガーペイントを始めて9年になる。今では食事をするのと同じくらい大切な私のルーティンだ。そして私の支えになっている。絵を始めてから、沢山の出会いがあった。それは、私にとって宝物。これからも、楽しむ事を忘れずに描き続けていきたい。

より一層の感染予防対策を！

休憩室外観

医務室



休憩室内

二見生活介護支援センター潮音では、生活介護・短期入所・日中一時支援サービスを提供する中、緊急時に静養ルームや居室等で感染対策を行ってきた。コロナウイルスが感染拡大する中、感染症の対策をより強化していく為、医務室を新たに設置した。利用者さんの体調不良時に安心・安全に対応し、看護師中心にこれからもしっかり感染予防をしていきたい。そして、利用者さんの服薬の管理や処置をスムーズに行い、安心したサービスを提供していく。

現在、職員の検温と体調チェック・朝の送迎時と送迎出発前、夜間の利用者さんの体温チェック・生活介護サービス受入れ前後にクリーンタイムを設け、施設内のアルコールでの消毒・窓の開閉・昼食時のアクリル板設置やフェイスシールドの装着を続けている。日中活動時は密にならないようにこれからも気をつけていきたい。

また、医務室の設置に伴い、潮音のテラスの一部を改装して、職員の休憩室を新たに増築した。

以前から、休憩時に足を伸ばして休憩をしたいという職員の希望もあり、畳スペースの休憩室が完成した。職員のリラックスできる空間ができ、リフレッシュできることに期待したい。

八野生活介護センター

個別ケア

入所支援では一昨年度から、コロナ渦で利用者さんがストレスや不満を溜め込まないように、利用者さん個々に合わせた個別ケアを実施。

脳トレ、パズル、オセロや心理的療法など内容は様々。お手伝いが好きな方は食事の下膳のお手伝い、エプロンを畳んだり、理学療法士の指導による簡単なリハビリや館内の散歩を行うこともある。ケア後は「今度はいつやるの」と、意欲的に取り組む利用者さんがたくさんおられ、次を楽しみにされている。

ドリルを解くよ

下膳のお手伝い頑張る

リハビリがきついな

丹精込めて畳むよ

自立課題

通所支援では、今年度より小グループ活動、個別活動の充実を図り、その中でも「自立課題」の提供に力を入れている。

自立課題とは、始まりから終わりまでが明確で、支援員の手を借りることなく、最後まで自分の力で取り組めるよう工夫して作られた課題。それには、何度も作り直したり、新しい課題を試したり、試行錯誤を繰り返しながら、個々に合った課題を全て職員の手作りで提供している。

まずは大きくて数が少ないものから取り組む。問題なく始めから終わりまで取り組めれば、難易度を上げて、小さくて数が多いものに挑戦。その人の能力を見極め、可能性を引き出せれば、利用者さんに達成感を感じていただけるのではないかと考えている。また今後その様子を、動画で保護者様に見てもらうことも計画している。

新しいことにどんどん挑戦するというより、一人ひとりの特性を理解し、得意なことを伸ばすことに重点を置いていきたい。

頑張っているよ

もう慣れっこ

職員に教えてもらいながら

みんなでやっているよ

放課後等デイサービスURAURA

放課後等デイサービスURAURA八野

リモート工場見学ツアー

コロナ禍ということもあり、出かける機会が少ない中、気持ちだけでも出かけた気分を味わったり、会社を見学していろんな仕事がある事を理解して頂くために、リモート工場見学を実施。

今回は日本航空（JAL）の工場を見学し、飛行機がどのようにして飛んでいるのか、また、部品の名前を教えていただき、「へえー」という声があった。見学中にはクイズも出題され、答えながら見学が出来、皆さん楽しみながら参加された。

見学ツアーのはじまり

画面に見入る皆さん

離陸の瞬間

思わず「へえー」

放課後等デイサービスURAURA稲生

「わくわくセラピー」と「わくわく体操」

新たな活動としてスタートしたきれい会の専門職員による取り組みも、回を重ねて一年近くになった。臨床心理士の担当する「わくわくセラピー」は、気持ちが落ち着く方法や、集中力が身に着く方法、人との距離の取り方などを学ぶ場である。理学療法士の担当する「わくわく体操」では、体幹を強くする体操をみんなで頑張った。

毎月会う日を楽しみに参加される児童さんも増え、定番の活動になりつつある。

人との距離を学びました

影絵をつくってリラックス

紅白のはたあげで集中力をアップ

セラバンド

理学療法士の「わくわく体操」

八野就労支援センター

初詣

1月8日(土)、飯野神社に初詣へ。久しぶりの外出行事となり、神社へ向かう車内からワクワクする姿が印象的であった。みんなで参拝を行った後は、おみくじを引いたり、お守りを買い、新しい年の無事を祈願した。施設に戻り、「今年も頑張ろう!」と意気込んだ。

生活介護&おにぎり屋

就労継続B型

参拝しました

最後に結んで…

おみくじの結果は?

良い1年になりますように

はちのレンズ

施設だよりには「はちのレンズ」のコーナーがある。コロナウイルス感染症が流行り、自由に外出が出来ない中で、利用者さんに少しでも四季を感じて欲しい想いからスタートした。施設周辺で四季を探して、一緒に撮影。これからも利用者さんと色んな八野の四季を探していきたい。

向日葵を育てました

お花見

綺麗に咲きました

施設の玄関はツツジが満開

色んな形のどんぐりです

緑葉も楽しめます

きれいサポートステーション

体力向上計画

令和3年度はコロナ禍で運動不足ということもあり、利用者さんの体力維持を目的とした体力測定を3回おこなった。握力や前屈、背筋、立ち幅跳び、踏み台昇降といった種目を5月、10月、2月と測定をした。毎回測定の際には前回の自分の記録を見ながらしてもらい、前回の記録を頑張って追い越そうという姿が何度も見られた。特に握力や踏み台昇降は日々の努力の成果もあり、記録が伸びているケースが多かった。また来年度も定期的に測定をおこない、体力維持の意識に繋げていきたい。

週2回の踏み台昇降

ハンドグリップで握力鍛え中

第2回目　踏み台昇降

第1回目　握力

県民の森　雪合戦

夏の暑さにも負けず、冬の寒さにも負けず、毎日外作業を頑張っていただいているまかせ太の利用者さん。年が明けた1月4日㈫、お正月なまりの解消も目的に、三重県民の森に散策に行った。

野鳥や植物の観賞をしながら山道を進み、展望台を目指した。途中、雪が残っている場所もあり、利用者さん同士「そこ滑るから危ないよ」と声を掛け合い、また雪の上を歩くのが怖い人には手を差し伸べ助け合いながら歩いた。

展望台を下った先に、なんと広場一面に雪が！誰かが雪を投げて雪合戦がスタート!!みんな一斉に雪の広場を走り回った。雪合戦の後は、雪を転がして大きな雪だるまを作る。眼鏡とマスクをしてこだわりの雪だるまが完成した。

午後からアスレチックで遊ぶ予定が、突然雨が降り出し、あえなく断念。少し後ろ髪をひかれつつ、県民の森をあとにした。次こそは絶対にアスレチックで遊ぶぞ！

みんなで雪合戦だ

雪だるまさんもマスクをしよう

ここに行きました

展望台にてガオーで記念撮影

南勢就労支援センター

今日は何の日？

皆さんご存知だろうか？365日、毎日に記念日が存在している事を。それぞれの記念日に意味や由来があり、ユニークな記念日も多い。

南勢では、コロナ禍でも楽しんでいただきたい気持ちから、毎月「今日は何の日？」レクリエーションを開催している。何の日か事前に調べてきてくれる利用者さんもいて、皆さん楽しみにされている。

1月15日㈯は「小豆の日」。記念日の由来を学び、小豆にまつわるクイズを楽しんでいただいた。また、同日が鏡開きの日でもあったため、小豆の日にちなんでぜんざいのふるまいもあった。ぜんざいに入れるお餅は昔ながらの杵と臼を使って職員が餅つきをおこなった。

餅つきを初めて見る利用者さんも多く、興味津々で目が離せない様子だった。職員を応援してくれる利用者さんがいたので、「美味しいお餅を提供したい！」と感情が奮い立ち餅をつくスピードが加速した。職員の頑張る姿に感銘を受け、餅つきを希望される利用者さんがいた。職員に負けないくらいの勢いだったため、周りから歓声が上がった。

餅つき体験の後は出来立てのお餅を召し上がっていただいた。初めての体験や美味しいお餅で良い今日は何の日となった。

ぜんざい美味しい!

出来立てのお餅を食べました

餅つき体験!

1月15日は小豆の日

職員が餅をつきました

道路交通法第70条、第71条、都道府県公安委員会規則

携帯電話の通話や操作をしたり、傘を差したり、物を担いだりすることなど、ハンドル・ブレーキ等を確実に操作できず、他人に危害を及ぼすような方法で運転してはならない

第2南勢では安全講習として道路交通法について勉強した。

自転車に乗る利用者さんが多いという事で自転車問題を中心に行った。

職員でも難しく感じる問題もあるなか、利用者皆さん真剣に問題に取り組み、頭を抱える場面もあった。

答え合わせをし、間違えた部分を改めて勉強し、交通安全への理解をより深める活動になった。

スマホが普及している現代、自転車使用時の事故も変わってきている。特にスマホの使用率が多い第2南勢においては注意して怪我無く自転車に乗って頂きたい。

今回の活動から、より毎日の安全を意識して、ぜひ皆さんが事故等に巻き込まれる事のないよう強く願う。

中高生用

自転車の安心・安全確認テスト①

正しいものには○、誤っているものには×を（　）に記入しましょう。

問1（　）自転車は、法律では軽車両であり、自動車と同じく車両に分類される。

問2（　）自転車のブレーキは、前輪・後輪の両方に必要である。

問3（　）自転車には、ベル（警音器）が必要である。

問4（　）サドルにまたがったとき、両足先が地面につくようサドルの高さを調整する必要がある。

問5（　）歩道がない道路では、図のように道路の左端を通行する。

問6（　）自転車は原則、車道通行であるが、車道や交通の状況によってやむを得ないときは、歩道を通行できる。

問7（　）歩道を自転車で通行するときは、図のように歩道の中の車道側を通行する。

問8（　）夕方になっても、外灯などで周りが十分に明るく、歩行者や他の車両が確認できるときは、ライトをつけなくてもよい。

問9（　）踏切では、必ず一旦止まって左右を確認する必要がある。

問10（　）自転車通行可の歩道を自転車で通行するときは、すぐに止まることができる速さで運転して、歩行者の妨げになる場合は、一時止まらなければならない。

（　）年（　）組（　）番　氏名（　　）

自転車についての問題

85点!

チャーリーからの届け物

2月のクラブ活動として映画鑑賞をおこなった。

バレンタインがあるという事で「チャーリーとチョコレート工場」を鑑賞した。ファンタジーの世界のチョコは踊りながら製造されることを皆さん不思議がっていた。

その後、第2南勢経由でチョコのプレゼントをくじ引きにより実施。

握りしめたチロルチョコは、それぞれの思いが伝わり、ほのかに柔らかく佇んでいた。しかしどんなに小さくてもチョコを手に取るとあの甘い香り。

みんなの笑顔で終わった第2南勢のバレンタインであった。

チョコ当たりました

チャーリー??

宮の里ミタスメモリアルホーム

2022年の始まり

前年に引き続き今年もコロナ禍で迎えた静かなお正月。こんな世の中でも変わらないのはおせち料理の美味しさ。利用者さんの日々の生活は変わってしまったけれど…みんなで語らいながら楽しく食べられる日はきっとすぐそこ。2022年も「できること」をみんなでやってみよう。室町時代に伊勢の国で飢饉や疾病を追い払う為、お正月に舞ったのが始まりとされる獅子舞いに邪気は残らず食べてもらい、今年こそは収束を待つ。

今年もおせちは美味しいよ

何年も邪気を食べてくれた宮の里の獅子舞い。
今年は歯が抜け引退を迎えます。今までありがとう。

～ミニ縁日開催～

2月17日㈭、利用者さんに少しでもお祭り気分を体感してほしい、そんな気持ちで縁日を開催。職員は利用者さんの笑顔を思い浮かべながら、準備に大忙し。千本引き、射的、魚釣り、輪投げ、ヨーヨー釣り、期待以上に楽しんでくれていた。

ゲームの景品はお菓子や雑貨等、それだけでもワクワク。しかし、今回のお祭りはこれだけでは終わらなかった…手作りチョコバナナや綿アメも出品し、お祭りは大好評。

距離が近くても大丈夫!お菓子Get出来たね～

チョコバナナは定番よね～

お面を被ってGoodポーズ!

毎日使えるかな～??

選べるかな～??

二見生活介護支援センター潮音

楽しかった、クリスマス会

12月25日㈯、クリスマス会を行い、利用者さん29名の参加で賑わった。

サンタやトナカイに扮した職員の登場もクリスマス会を大いに盛り上げ、サンタから手渡されたプレゼントに、にこやかな笑顔の利用者さんの姿があった。

その後、みなさんお待ちかねのビンゴ大会が行われた。沢山のリーチの声になかなかビンゴが出ず焦る利用者さん。司会のトナカイもドキドキしながらの進行だったが、上位5名が決定！豪華景品をゲットされた！

午後からは、二胡演奏者の村山先生と他3名の方によるコンサートが始まり、会場全体が二胡の音色に包まれ、皆さん聞き惚れておられた。また、コンサート中盤にはウクレレの演奏やフラの踊りもあり、より一層盛り上がった。立ち上がって踊られたり、歌われたり、身体を動かして楽しまれていた。

アンコール曲には皆さんご存知の「Y・M・C・A」。利用者さんも職員もノリノリで今年のクリスマス会を締めくくった。久しぶりの生演奏に癒されたひとときだった。

帰宅時にはクリスマスケーキ、ジュースをお渡しさせていただいた。

その際、玄関フロアでは潮音で過ごされている利用者さんの様子を映像にまとめ、モニターにて上映し、お迎えにみえた家族さんからは大好評だった。

みんな一緒にY. M. C. A

曲に合わせてノリノリ♪

手作りリース!

みんなで作ったツリー

ハイ！チーズ

みんな集合!!

ハートフルリレー
heartful relay

相談はライフステーションへ

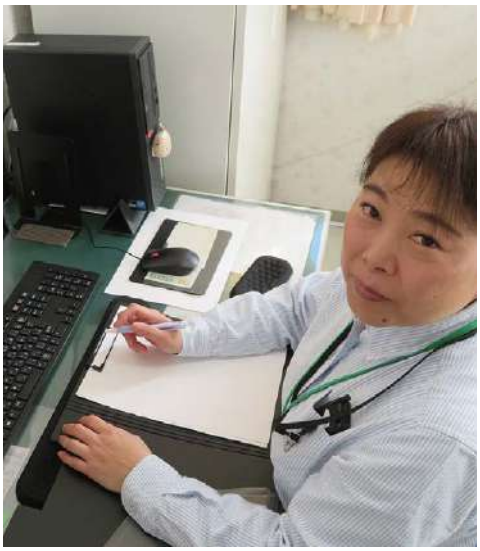
毎日電話が鳴りやまないきれいライフステーションでは、現在約310人の契約者がいる。きれいライフステーションでは障がいのある人の生活状況や困りごとなどを聞いて、その人に合う施設や居宅サービスなどを紹介している。福祉サービスを開始した3カ月間は利用者の利用状況などを確認するモニタリングを毎月行っており、その後も継続して定期的に行っている。モニタリングは基本的には利用者さんと直接お会いして話を伺い状況などを確認するのだが、現在はコロナの影響もありそれが難しくなっている。そんな中でも相談員は利用者さんの意思を尊重すること、相談員は常に利用者さんの味方でいることを頭におき、日々の相談内容に努めるようにしている。

三重県の玉城町にも宮の里ライフステーションがあり、職員が一人で頑張っている。そこでも利用者さんのことを第一に考えながら、日々利用者さんの相談に耳を傾けている。

今後も北勢と南勢で情報共有や協力をしながら、利用者さん一人ひとりに丁寧に聞き取りを行うことで、困りごとなどを解決してより良い生活を送れるように支援していきたい。

電話にてモニタリング

気軽にご相談ください


宮の里でも頑張ってます

利用者さんとの面談

永年勤続表彰

1月24日(月)、令和3年度永年勤続者表彰が、法人本部で行われた。対象者には、横山理事長から表彰状と記念品が授与された。表彰者それぞれから今後の抱負を述べていただいた。今後も活躍が期待される。

20年
南出　宗一　きれいサポートステーション
中村　智士　南勢就労支援センター
田辺　淳　八野生活介護センター
伊藤　美保子　経営企画本部

10年
川北　泰弘　きれいサポートステーション
加藤　英子　きれいサポートステーション
澤　孝行　南勢就労支援センター
稲垣　弥生　八野就労支援センター
中濱　彰人　八野生活介護センター
棚矢　佳奈美　八野生活介護センター

5年
長谷川　静子　グループホームきれい　栗の木ヴィレッジ
駒倉　一男　社会的事業所まかせ太君
小林　悌司　きれいサポートステーション
金濱　久美子　きれいサポートステーション
横山　かおり　きれいサポートステーション
小森　靖子　きれいサポートステーション
木戸　泰利　二見生活介護支援センター潮音
岡村　亜由美　第2南勢就労支援センター
須場　隆行　南勢就労支援センター
北川　雄一　南勢就労支援センター
前田　拓也　八野生活介護センター
東山　佑斗　宮の里ミタスメモリアルホーム
山本　有梨佳　宮の里ミタスメモリアルホーム
近澤　由美　宮の里ミタスメモリアルホーム
綿民　和朗　宮の里ミタスメモリアルホーム
蓮池　芳英　グループホームきれい　みや川

ご寄贈いただきました

たい焼きのご寄付

八野生活介護センターに富国生命保険相互会社、三重支社外野倶楽部様よりフェイスタオル100枚をいただきました。三重支社鈴鹿営業所上席所長の山本純也様、松阪営業所マネージャーの加納美幸様を始めとする4名の方に来所いただき、利用者さんの前で、横山理事長に手渡していただきました。頂いたフェイスタオルは、利用者さんの為に使用させていただきます。

南勢就労支援センターでは、たいやきわらしべ様よりたい焼きをご寄付いただきました。

とても美味しいたい焼きを、みなさん大喜びでいただきました。

タオル寄贈

富国生命の皆様

令和三年度 芸術文化祭受賞

賞状をもらいました

作品「円盤」

杉本厚夫さん

江藤規彦さん

12月4日(土)、津市芸濃総合文化センターで三重県障がい者芸術文化祭が開催され、きれいサポートステーションで日中一時を利用している杉本厚夫さんの作品「大好きなsakura」と、陶芸の部で江藤規彦さんの作品「円盤」が見事受賞。作品は2月22日から27日まで、四日市文化会館で展示された。

杉本さんは色合いなどに力を入れたと言っており、受賞を聞いたときはとても嬉しがっていた。江藤さんは受賞の報告を聞いても驚いた様子はなかったが、賞状をもらった時は喜んでいた。

出品した全員の作品も一般展示され、利用者さんの日頃の頑張りをみていただく良い機会となった。

神鶏奉納

伊勢神宮では神様の使い「神鶏」を放し飼いにしており、神宮奉納鶏保存会の皆様に声をかけていただき、南勢の敷地内で育てている鶏を奉納させていただく運びとなった。

当日、鳥居前からスタートに籠を担ぐ大役を仰せつかった。小林会長ご子息の小林事務長と南勢の澤課長もはじめは籠の重みに緊張の様子もみられたが宇治橋を渡り切り、後者へのバトンを繋いだ。そして、一緒に参加した利用者さん2名にも順番が。「まだまだいけるよ!」と参加の充実感をにじませた。普段の生活では決して味わうことのない貴重な体験となった。

最後に参集殿前で鶏を放ち、お世話をしてきた鶏達がたくさんの人にカメラを向けられている姿に「品評会に出せるくらい立派だ。」と会長から声をかけていただいた日を思い起した。

今後も神鶏を育て地域との架け橋にしたい。

宇治橋を渡る様子

奉納した鶏

記念撮影

成人・還暦のお祝い

還暦になられた利用者さん7名、成人になられた利用者さん12名、おめでとうございます。健康に気を付けて、これからも頑張って下さい。

八野生活介護センター

成　人

永田大吾さん
いつまでも元気で毎日を楽しく過ごしたい

永田航大さん
積極的に色んな活動に参加して楽しく過ごしたい

還　暦

中井真実さん
この体になっても日々充実しています。

茶谷　誠さん
長生きします。

谷　榮一さん
これからも楽しく健康で過ごしたいと思います

八野就労支援センター

成　人

吉澤拓海さん
元気に頑張ります!

きれいサポートステーション

成　人

奥田有彩さん
人の役に立てるように頑張ります

南勢就労支援センター

還　暦

浜田徳恵さん
楽しく南勢に通います

青木　茂さん
ツバ取り作業頑張ります

成　人

大西達夢さん
仕事を頑張ります

中世古優衣さん
楽しく日課に参加します

平生大樹さん
お仕事頑張ります

西田隼人さん
集中してお仕事します

二見生活介護支援センター潮音

成　人

濱口真菜香さん
今まで支えてきてくださった沢山の方々に感謝して、これからも元気に笑顔で!!

森口央介さん
変わらず、健康で元気に、そして笑顔で過せるよう頑張ります!

坂口　稜さん
素敵な大人になれるように頑張りたいです!

第2南勢就労支援センター

還　暦

奥村朝生さん
コロナが落ち着いたらカラオケをしたい

髙橋小百合さん
毎日一生懸命頑張ります

成　人

堀内海斗さん
施設外作業を頑張ります!

職員の休日

OLIDAY

毎日楽しくお仕事をしております

八野生活介護センター　大島正太郎

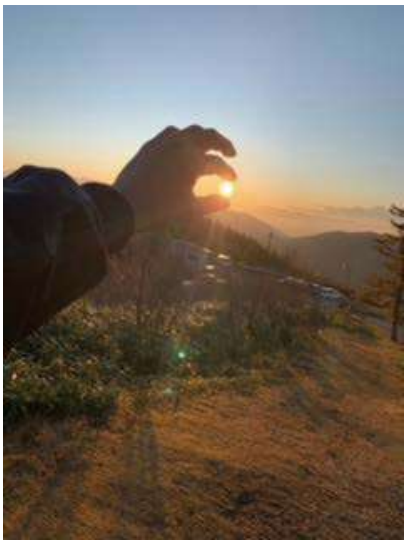
私、八野生活介護センターにて勤務をしております大島正太郎と申します。こちらの施設に来てもうすぐ4年が経とうとしていますが、入所の利用者さんの支援を主に、毎日楽しくお仕事をしております。

僭越ながら、私の休日を紹介させていただきますと、コロナの前と今でがらっと変わりました。コロナになる前は、旅行によく行っていました。友達と行くこともあるのですが、一人旅行をよくしていました。行く場所だけ決めて、後はノープラン。時間など何にも縛られず、自由気ままにその場で行きたい所に行く。わくわくとドキドキがとまらず、ウキウキです。自然や人情に触れて、心が洗われます。そして、必ずゲームセンターに寄ってぬいぐるみやフィギュアを取って帰るのが定石です（笑）。

コロナが流行してからは、家に籠もってゲームしたり、YouTubeを観たりすることが多くなりました。無駄に家具だけ過ごしやすいようにそろえて、リラックスできるようにしています。

コロナが落ち着いたら、とりあえずゲームセンターで一日遊びたい！なんて思いますが、今はおうち時間を自分なりに楽しく過ごして、日々のお仕事を頑張っていきたいと思います。

最後まで読んでくださってありがとうございます。そんな心優しい方に少しでも幸福が訪れますように（笑）



銀河もみじキャンプ場

奈良のシカ

眼鏡橋

浜松のうなぎ

静岡県「さわやか」のハンバーグ

ヘブンスそのはら

自分の部屋

きれいかいの動き　新職員紹介

南勢就労支援センター

お弁当屋潮音
廣　理恵

宮の里ミタスメモリアルホーム

西原　幸雄

グループホームきれいみや川

奥野　裕子

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが、一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

令和4年度初号は、巻頭インタビューで理事長に今後の亀鈴会についてお話を伺いました。1つ1つのお言葉に利用者さんへの想いが深く、心に残る機関紙となりました。“チャレンジ”する事を忘れずに、日々の業務に努めます。ありがとうございました。

八野就労支援センター　大坪

ご寄付をいただきました。ありがとうございました。

南勢就労支援センター

生活協同組合コープみえ様

八野就労支援センター

ミニストップ鈴鹿庄野店 様

加藤　充広 様

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいていますが、利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター　担当：中野　TEL059-378-8881
宮の里ミタスメモリアルホーム　担当：加藤　TEL0596-58-5030
二見生活介護支援センター潮音　担当：岡島　TEL0596-72-8822

きれい通信 ちょっと寄り道!!

忠盛塚

忠盛塚全体

椥の木

産湯池

津市郊外にある忠盛塚。正式には「平氏発祥伝説地」とも言われ、平安時代末期に活躍した平清盛の父、平忠盛の出生地であり、忠盛が生まれたときの胞衣を埋めた「胞衣塚」や忠盛の産湯に使ったと言われる「産湯池」がある。

三重の旧国名である伊勢国は平氏との深い関わりを持っており、元々は関東を中心に勢力を張っていたが、平将門の乱や平忠常の乱以降は源頼朝を中心とした源氏の地盤となり、平氏は伊勢・伊賀を本拠地として、寛弘3年以降は伊勢守に任じられている。

現在の忠盛塚は明治33年に現在の形に整備され、山桜と平氏にゆかりがある椥の木が植えられており春には綺麗な山桜が満開となる。また、周辺には伊勢平氏ゆかりのある神社仏閣、古墳などが点在しており、忠盛塚と共に訪れてみては。

伊勢平氏発祥地のゆかりの地図

Access

〒514-0076 三重県津市産品

社会福祉法人 きれい 伊勢亀鈴会

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
八野生活介護センター

指定放課後等デイサービス事業所
URAURA八野
〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL059-378-8881(代) FAX059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp

指定放課後等デイサービス事業所
URAURA稲生
〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
TEL059-392-5130(代) FAX059-392-5131

指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所
八野就労支援センター
〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL059-378-6622(代) FAX059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
福祉の森の家　体にいいおにぎり屋
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-380-6355 FAX059-367-7377

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-388-1508 FAX059-388-1508

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 空羅多ガーデン(くらたがーでん)
〒513-0207 鈴鹿市稲生塩屋2丁目1番5号
TEL059-388-1882 FAX059-388-1882

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 栗の木ヴィレッジ
(第1)〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182
(第2)〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 御糸の杜(みいとのもり)
〒515-0354 多気郡明和町行部131
TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい みや川
519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所
きれいサポートステーション
〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-388-0864 FAX059-367-7911

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業所
きれいライフステーション
〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-340-7997 FAX059-367-7050

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
宮の里ミタスメモリアルホーム
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033
e-mail miyanosato@kirei.or.jp

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業
宮の里ライフステーション
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-8588 FAX0596-58-5033

指定生活介護事業所・指定短期入所
二見生活介護支援センター 潮音(しおね)
〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所
指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所
南勢就労支援センター
〒519-0427 度会郡玉城町宮古字鉄砲塚728番地の18
TEL0596-58-0101(代) FAX0596-58-6742
e-mail nansei@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
お弁当屋　潮音(しおね)
〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
(二見生活介護支援センター潮音内)
TEL0596-72-8808 FAX0596-72-8817
e-mail obentoya-shione@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
第2南勢就労支援センター
〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
TEL0596-55-6711(代) FAX0596-55-3535
e-mail nansei2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 白子
〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL059-380-1711 FAX059-380-1712

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 鈴鹿南
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL059-380-1717 FAX059-380-1720

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 津
〒514-0014 津市港町18-12
TEL059-213-1717 FAX059-213-1771

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 伊勢
〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025

社会的事業所
まかせ太君(鈴鹿)
〒513-0836 鈴鹿市国府町字高畔3917-272
TEL059-370-8118 FAX059-370-8119

社会的事業所
まかせ太君(伊勢)
〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451

印刷
指定就労継続支援B型事業所
八野就労支援センター印刷係
〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
☎059-375-4381 FAX 059-340-8810 e-mail insatsu@kirei.or.jp